

令和7年 4月 日

内閣官房 防災庁設置準備室
室長 阪田 渉 様

防災塾・だるま
名誉塾長 荏 本 孝 久
塾 長 鷲山 龍太郎

防災庁創設に向けた市民提言の送付について（ご拝読とご検討のお願い） **案**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

防災庁創設への崇高なご尽力に心より敬意を表します。

さて、去る1月30日に開催された「防災庁設置アドバイザー会議」を受け、本会では学習会を開催し、防災に取り組む多様な市民、専門家、災害ボランティア経験者を含む会員の意見を集約いたしました。内閣府ならびにアドバイザーの皆様が示された方向性に基本的に賛同するものの、ヒアリング期間とされるこの機会に、本会の提言をご一読いただき、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

1. 本会「防災塾・だるま」について

本会は神奈川県を拠点とする市民団体であり、2006年の創設以来、防災講演会・交流会や被災地視察等を継続的に実施してまいりました。（詳細は後述）

2. 提言書の位置づけと目的

本会の主要活動である「防災まちづくり談義の会」（講演会・交流会）は、昨年11月に第200回を迎えました。この節目が防災庁設置準備室の開設時期と重なったことを契機に、本会の防災研究データベースを活用し、「防災立国」の実現に向けた国民の願いと提言をお届けしたいと考えました。

3. 提言の集約方法

神奈川県選出の衆議院議員であり、総務大臣政務官の古川なおき氏にご講演を依頼し、本会第202回「防災まちづくり談義の会」を開催しました。本会会員の意見を事前に収集するとともに、意見交換を実施。古川総務大臣政務官代理の秘書中川颯土氏とも意見を交わしました。

さらに、その後「防災塾・だるま」会員間で検討協議し、全体会をもって提言をまとめました。

4. 提言整理の観点 以下の公開された論点を基に、会員の意見を対比・分析し整理しました。

- (1) 内閣府防災の組織・定員の拡充の方向性
- (2) 防災庁設置に向けた主要論点との対比検討
- (3) 本会の研究と多様な会員の切なる思いをもとにさらに論点を要約しました。

5. 提出する資料

- (1) 本書「防災庁創設に向けた市民提言の送付について」および提言要旨
- (2) 【資料1】「防災庁創設に向けた市民提言」（論点別要旨）
- (3) 【資料2】「内閣府組織拡充方向性・アドバイザー会議意見・本会意見の対比一覧」
- (4) 【資料3】「本会会員による市民提言原文一覧」
- (5) 【資料4】第202回防災まちづくり談義の会レポート
- (6) 【資料5】「防災まちづくり談義の会」200回の活動記録アーカイブ一覧
- (7) 【資料6】第200回「防災塾・だるま」レポート 2024年11月15日
談義の会200回を基盤とした防災の未来への提案

「防災塾・だるま」について

組織概要

「防災塾・だるま」は、市民、研究者、大学、企業、行政など多様な主体のネットワークにより地域防災力の向上を目指す団体です。「災害の教訓を生かし、七転び八起き」の理念のもと、2006年に結成されました。

防災講演会「防災まちづくり談義の会」（2024年には200回超）を中心に、「定例会」による情報共有、神奈川大学と連携したエクステンション講座、被災地視察会、他機関との連携支援など、多様な活動を推進しています。

目的

本会は、あらゆる防災活動を通じて会員の防災力向上を図るとともに、防災に関する情報共有ネットワークを構築し、地域社会の防災まちづくりに貢献することを目的としています。

組織情報

- 名称：「防災塾・だるま」
- 種別：任意団体
- 創設：2006年
- 活動拠点：主に神奈川県 横浜市内
- 会員数：約80名（神奈川県・東京都在住者中心）
- 会員構成：
 - 一般市民
 - 地域防災実践者（自治会、避難所運営）
 - 災害ボランティア
 - 研究者・専門家（建築士・弁護士・福祉士等）
 - 行政経験者、市議員 など
- 創設者（名誉塾長）：荏本孝久（神奈川大学名誉教授）
- 代表（塾長）：鷺山龍太郎（防災士・元横浜市立小学校長）
- 連絡先
 - 電話：080-1077-4537
 - メール：wasshiy@me.com
 - HP：<https://darumajin.sakura.ne.jp>

本会には、地域防災の実践者、災害ボランティア、研究者、様々な専門家がおりますので、ヒアリング期間に必要があれば、ぜひ体験や思い、提案をご聴取いただければ幸いです。

以上、何卒ご査収のほどお願い申し上げます。

敬具